

# 月刊 さいとう健けん

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行  
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23  
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: <http://www.jimin.jp/>

## 《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。  
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。  
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。  
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。  
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。  
平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、  
党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣を経て、現在、農林水産  
大臣として農協改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。  
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画  
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)  
[尊敬する人物] 高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎



やっぱり  
この界だ

号外  
平成29年12月1日発行

## 「農林水産大臣 としての日々」

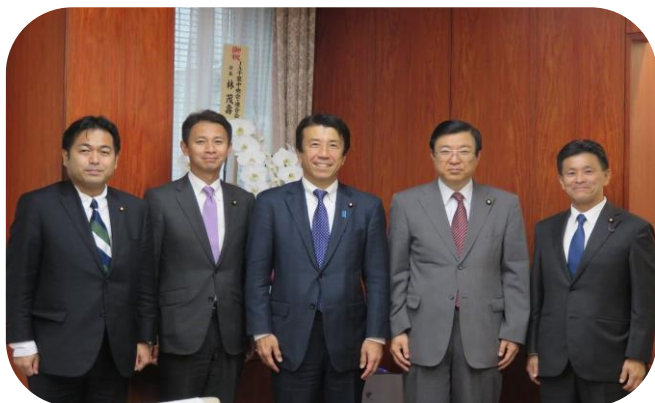
### 【農林水産省職員への齋藤大臣訓示(要約)】

常々申し上げていることではありますが、日本の農林水産業が日本に果たす役割というのは、極めて大きい。地域を守るためにはどうしても農林水産業が元気でなくてはなりません。同時に、人口が減少していく中で、産業としての農林水産業は、新しい展開を図っていかないとジリ貧になるという厳しい現実があります。

そういう時代環境の中で、皆さんは農林水産行政を担う巡り合わせになっているわけです。農林水産行政に一生かけて取り組もうとこの省の門を叩いた方がほとんどだと、私は信じておりますが、そういう皆さんにとって、こういう時代にたまたまではあるが遭遇したということは、役人冥利に尽きるのではないかと、多くの試練があるかと思っておりますが、大きな使命感をもって新しい農林水産行政を展開していただきたいと、心から期待しております。

三つほど皆さんにお話ししたいと思っております。一つは、自分の所属する課の行政はいったいどうあるべきなのか、このままでいいのか、変えるのであればどこをどう変えるべきなのか、そしてどの程度の政策を展開をしなければ現実を変えることができないのか、そういう本質的なことを考えて、自分の意見を持っていただきたい。こうすべきだと。今のままでいいなら今のままでいい、堂々と言えればいいし、だめだと思ったらどうすべきかを、真剣に一人一人自分の意見を持って考えていただきたい。絶対やってはいけないことはアリバイづくり行政です。

「やっています、やっています」とやってるつもりになっているんだけど、それは説明をしているだけであって実態は動かない。アリバイ作りのための資料作り、アリバイ作りのための予算取り、そういうつまらないことに力を注ぐのではなくて、どうしたらいいかということの本気で考えて、そのために山が大きくても谷が深くても乗り越えていこうと、そういう心持ちを持っていただきたい。(裏面につづく)



左から、野中政務官・谷合副大臣・さいとう健・磯崎副大臣・上月政務官の布陣で農林水産業の構造改革を推進します。



キャリア・ラム香港特別行政区行政長官と会談



パワーアシストスーツの実演を視察



福島県見柵(みね)集落にて中山間地農業を視察





トランプ米大統領の来日前に、ハガティ駐日米国大使と会談



香港 Food Expo 2017にて日本ブースを激励



日-EUのEPA交渉に向け、ブドウ駐日欧州連合大使と会談



低コスト植林のコンテナ苗を植え付け



第19回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーを視察

(おもて面から)

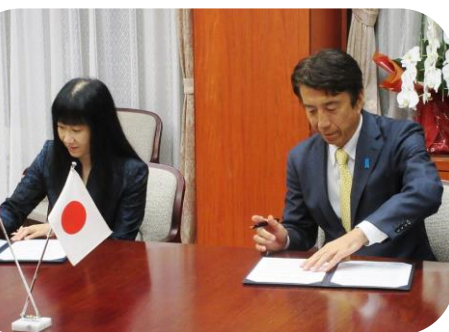
二つ目は、広い視野を持って欲しいということです。これからの農林水産業は、広い視野がなければ答えは見つからない。私はこれまで4年間皆さん方と接しながら、こう確信しています。多くの外の人達とつき合い、一見関係のないような書物を読みながら日本の農林水産業のあるべき姿を自分で考えるということを是非実践していただきたい。

三つ目は、そういうふうに考えた上で、思い切ってチャレンジをしていただいた時、それがうまくいかなくても、向こう傷は問わない。そういう農林水産省であって欲しい、そう願っています。

最後に細かい話になりますが、私もいろんな省庁の方とおつき合いをして参りましたけれども、一つ気になることがあります。それは副大臣室で議論をしている時に、私が質問をします。そうすると、それに直接答えずに全然関係ないことをとうとうとしゃべる方が多くいます。非常に良くない。分からなければ、「分からない。その点については、調べてお答えします。」それで結構なんです。関係の無いことを延々としゃべるというのは、結局、自分で自分をごまかしているんです。自分をごまかす人は、どうすべきかということを実際に考えなくなります。ですから、小さなやりとりであっても、この質問に対してはどう真剣に答えるべきなのかということから一歩を始めていただきたいと思います。

いろいろ申し上げましたけれども、私は、皆さんに使っていただきたいと思います。「大臣、これやらなければだめですよ」、「こうしないと日本の水産業はだめになります、難しいけどやりましょう」、そういう形で是非使っていただくことを最後にお願ひして、挨拶とします。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

(平成29年8月4日)



フォン香港貿易発展局総裁と農産物の香港輸出促進に関する覚書に署名



山口佐賀県知事から説明を受け、海上から有明海・諫早湾の現状を視察

**メルマガさいとう健**  
 名前・住所の登録不要。  
 月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。  
 返信すれば匿名で意見を伝えられます。  
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～  
 さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)  
 〒270-0114 流山市東初石6-181-34 セレーナおおたかの森2階  
 TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp  
 さいとう健 国会事務所  
 〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室  
 TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221